

図 - 4 2次系配管の点検等

点検概要

今定期検査において、合計1,147箇所について超音波検査(肉厚測定)等を実施した。

[超音波検査(肉厚測定):1,134箇所 内面目視点検:4箇所 内面目視点検および超音波検査(肉厚測定):9箇所]

2次系配管肉厚の管理指針に基づく超音波検査(肉厚測定)部位

	「2次系配管肉厚の管理指針」の点検対象部位		今回点検実施部位 ¹	今回点検実施後の点検未実施部
	総数	未点検部位		
主要点検部位	1,458 <0>	31 <0>	606 <+110>	0 <0>
その他部位	1,285 <0>	10 <0>	528 <+5>	0 <0>
合計	2,743 <0>	41 <0>	1,134 <+115>	0 <0>

< > は定検開始時からの増減

1: 定期検査開始時の計画では、1,019箇所の超音波探傷検査(肉厚測定)を実施する予定であったが、他プラントの減肉事象を踏まえ、主要点検部位110箇所、その他部位5箇所、合計115箇所を追加した。

2次系配管肉厚の管理指針に基づく内面目視点検ならびに超音波検査(肉厚測定)部位
 高圧排気管の直管部13箇所について、配管内面から目視点検を実施した結果、9箇所の配管内面に減肉傾向が認められたため、配管外面から超音波検査(肉厚測定)を実施した。

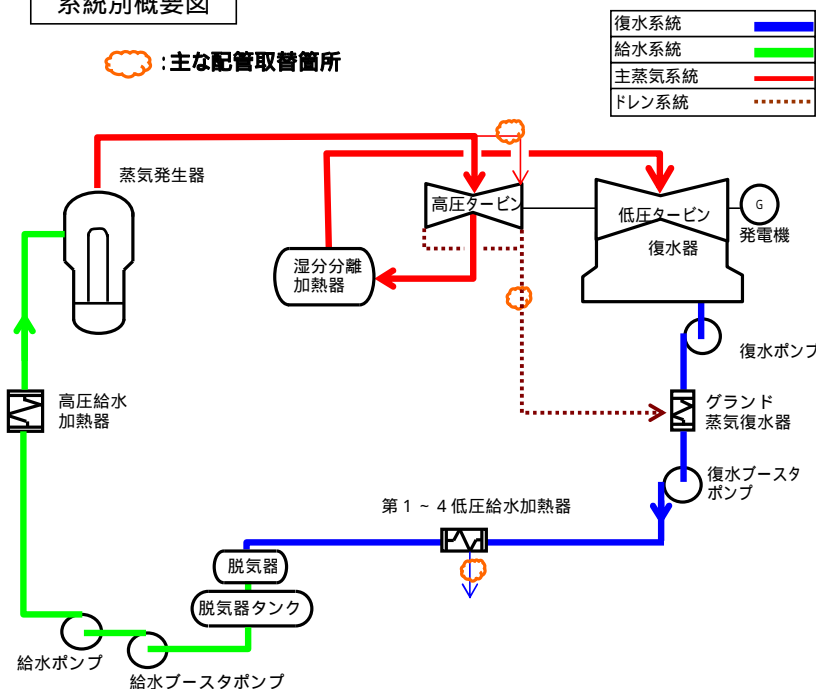
(結果)

必要最小厚さを下回る箇所、および余寿命評価で次回定期検査までに必要最小厚さを下回る可能性があるとして評価された箇所はなかった。

取替概要

今定期検査開始時には158箇所の配管取替を計画していたが、配管取替時の作業性を考慮して2箇所を追加し、合計160箇所について配管を取り替えた。

系統別概要図



【取替理由と取替え箇所数】

余寿命10年未満で減肉が確認されたため取り替えた。(7箇所)

炭素鋼 ステンレス鋼 7箇所

配管取替時の作業性を考慮して取り替えた。(2箇所 追加取替え)

炭素鋼 低合金鋼 2箇所

今後の保守性を考慮して取り替えた。(151箇所)

炭素鋼 ステンレス鋼 119箇所
 炭素鋼 低合金鋼 32箇所

(取替箇所数合計 160箇所)